

2021 年度 高齢者医療・在宅医療総合看護研修 募集要項



2021 年 5 月 10 日



国立研究開発法人

国立長寿医療研究センター

National Center for Geriatrics and Gerontology

📖 高齢者医療・在宅医療総合看護研修 Web サイト

<https://www.ncgg.go.jp/hospital/kenshu/index.html>

1. 高齢者医療・在宅医療総合看護研修について

わが国においては長寿社会が実現し、今後もさらなる高齢化の進展が予測されています。高齢者医療・在宅医療の臨床現場における看護師の役割はますます高くなると期待されています。

近年、老年医学・老年看護学などの老年専門領域では、健やかに老い安らかに最期を迎えるということを基盤に、研究成果や知見も増え、高齢者にふさわしい医療とケアの提供、システムの整備、社会保障のための施策が検討されています。このような背景から本研修では、受講していただく看護師みなさまの実践に役立つ研修を目指し、臨床実践の場で標準的に活用できる老年医学や老年看護の専門的知識、及び高齢者医療・在宅医療における昨今の社会的動向、新しい取り組みなどについて学び、理解・関心が深めいただけるよう開催しています。

高齢者医療・在宅医療総合看護研修の目的・目標

<目的>

老年期を生きる人びとの心身の特徴や取り巻いている環境を包括的・全人的に理解し、医学的な根拠や看護の専門知識に基づいて、高齢者医療・在宅医療に対応する実践的な看護師を育成する。

<目標>

- 1) 老年期に現れやすい症候や機能障害について理解を深める。
- 2) 高齢者の健康問題の特定や全体像把握のためのアセスメント能力向上となる科学的根拠を習得する。
- 3) 高齢社会の動向や長寿社会のニーズを知り、高齢者にふさわしい医療とケアについて考えを深める。
- 4) 高齢者が人生を終える時期に必要なケアに関する知識や、近年の動向について習得する。

2. 高齢者医療・在宅医療総合看護研修の開講講座

前述の研修目的と目標に沿って、国立長寿医療研究センターでの臨床実践・研究活動を踏まえたプログラムを構成しています。

2021年度の開講講座は表の通りです。

コロナウイルス感染症の蔓延状況を考慮し、ZOOM(リアルタイム)によるオンライン研修となります。

各講座の講義は、2日間の短期集中講義形式で開催し、90分1コマで行います。

講座名

- 高齢者の医療とケア1～2
- 高齢者の在宅医療
- 高齢者のリハビリテーション
- 認知症高齢者の看護 (認知症ケア加算の施設基準対応研修)
- 高齢者のエンドオブライフケア
- 認知症高齢者の看護・実習

「認知症高齢者の看護」の講座は、2016年度診療報酬改定で新設され、2020年度に改定された「認知症ケア加算」の施設基準の研修に合致した内容で、その対象研修としての認定を受けています。

3. 講座目標・講義テーマ・講師・時間割等

各講座の時間割

1 日目		2 日目	
9:00~9:10	オリエンテーション	9:00~10:30	講義
9:10~10:40	講義	10:40~12:10	講義
10:50~12:20	講義	13:10~14:40	講義
13:20~14:50	講義	14:50~16:20	講義
15:00~16:30	講義		

高齢者の医療とケア1

2021.9.29(水)~9.30(木)

講座目標

- 1) 高齢者に特徴的な疾病・症候や、その予防・治療について理解する。
- 2) 高齢者を包括的に診る視点や、症状の観察、判断の要点について理解する。
- 3) 高齢者を全人的に捉え、ケアを提供するために必要な看護の専門知識について習得する。
- 4) 高齢者へのケアを実践・展開する上で主体性を尊重することや倫理的視点について理解する。

講師・講義テーマ（講義順）

佐竹 昭介	(老年内科部長)	高齢者の多病と多様性
溝神 文博	(薬剤師)	高齢者の薬物療法
高梨 早苗	(老人看護専門看護師)	高齢者のせん妄ケア
野宮 正範	(泌尿器外科医長)	高齢者の排尿障害
角 保徳	(歯科口腔先進医療開発センター長)	命を支える口腔ケア
尾崎 健一	(リハビリテーション科 医師)	高齢者のリハビリテーション総論
伊藤 史朗	(摂食・嚥下障害看護認定看護師)	口から食べるということ
伊藤 史朗	(同上)	事例検討

高齢者の医療とケア2

2021.10.6(水)~10.7(木)

講座目標

- 1) 高齢者に特徴的な疾病・症候や、その予防・治療について理解する。
- 2) 高齢者を包括的に診る視点や、症状の観察、判断の要点について理解する。
- 3) 高齢者を全人的に捉え、ケアを提供するために必要な看護の専門知識について習得する。
- 4) 高齢者へのケアを実践・展開する上で主体性を尊重することや倫理的視点について理解する。

講師・講義テーマ（講義順）

荒井 秀典	(理事長)	フレイルについて
サブレ森田さゆり	(副看護師長)	高齢者のフットケア
櫻井 孝	(副院長)	認知症の基礎知識
磯貝 善蔵	(皮膚科部長)	高齢者の皮膚・褥瘡
前川 裕子	(感染管理認定看護師)	高齢者の感染症と看護
高梨 早苗	(老人看護専門看護師)	事例検討
清水 敦哉	(循環器内科部長)	高齢者の循環器治療
勝見 章	(血液内科部長)	高齢者の検査データの見方

認知症高齢者の看護

※認知症ケア加算施設基準対応研修

2021.10.20(水)~10.21(木)

講座目標

- 1) 認知症の病態・診断・予防～治療について理解する。
- 2) 認知症を有する人を中心とした理念に基づく対応やコミュニケーション方法を理解する。
- 3) BPSD・せん妄を呈する認知症高齢者のアセスメントの要点と援助について理解する。
- 4) 認知症を有する人の療養環境に対する倫理的視点と人的・物的環境の調整方法を理解する。
- 5) 認知症に関する近年の動向、施策について理解する。

講師・講義テーマ（講義順）

安野 史彦（精神科部長）	認知症の診断と治療・せん妄
竹内 さやか（認知症看護認定看護師）	認知症ケアの基本
猪口 里永子（老人看護専門看護師）	BPSD への対応・環境調整
佐藤 晶子（聖隷三方原病院 老人看護専門看護師）	認知症ケアの倫理
萩原 淳子（認知症看護認定看護師）	認知症の人とのコミュニケーション
島田 裕之（老年学・社会科学研究センター長）	認知症予防・コグニサイズ
高梨 早苗（老人看護専門看護師）	事例検討
小菅 もと子（NPO 法人地域の応援団えがお）	認知症の人と家族に寄り添う

高齢者のリハビリテーション

2021.11.10(水)~11.11(木)

講座目標

- 1) 加齢によって生ずる心身機能の変化と特徴について理解する。
- 2) 高齢者の生活機能や ADL の維持向上にむけたリハビリテーションの重要性を理解する。
- 3) 高齢者のリハビリテーションに関わるセラピストの役割や、実際の活動について理解する。
- 4) 高齢者の心身の状態や生活機能の維持向上に資する看護について考察する。

講師・講義テーマ（講義順）

16 時間

松井 孝之（理学療法主任）	高齢者の転倒の実際
佐藤 健二（理学療法主任）	生活期リハの概要と自立支援機器の紹介
飯塚 祐美子（主任管理栄養士）	フレイルな高齢者の栄養管理
西原 恵司（老年内科 医師）	フレイル・サルコペニア
田口 大輔（理学療法主任）	認知症のリハビリテーション
小島 由紀子（言語聴覚主任）	嚥下障害に対するリハビリテーション
新美 千佳（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）	脳卒中リハビリテーション看護
新美 千佳（同上）	事例検討

高齢者の在宅医療

2021.11.24(水)~11.25(木)

講座目標

- 1) 高齢者の在宅医療に関わる施策や在宅医療推進、地域包括ケアについて理解する。
- 2) 高齢者の在宅医療の実際や多職種役割・活動について理解する。
- 3) 在宅療養中の高齢者に生じている諸問題と社会支援・制度について理解する。
- 4) 高齢者の退院支援や多職種との連携に関する具体的方策について考察する。

講師・講義テーマ（講義順）

山田 小桜里（副地域医療連携室長）	退院支援の基礎知識
横井 真弓（訪問看護ステーション太陽 所長）	暮らしを支える看護
荒井 祐子（小規模多機能 エム・ケア名東 老人看護専門看護師）	小規模多機能における認知症高齢者へのケア
三浦 久幸（在宅医療・地域医療連携推進部長）	病院からのアウトリーチ活動
野村 秀樹（あいち診療会 あいち診療所 野並 院長）	在宅医療と地域連携
加藤 大策（有限会社エトス いしがせ薬局 薬剤師）	地域における薬剤師の実践活動
高見 雅代（医療ソーシャルワーカー）	高齢者医療・福祉制度
高梨 早苗（老人看護専門看護師）	事例検討

高齢者のエンドオブライフ(EOL)ケア

2021.12.1(水)~12.2(木)

講座目標

- 1) エンドオブライフ期の医療とケアに関する諸問題や近年の動向を理解する。
- 2) 非がん疾患の終末期の苦痛を緩和する医療の実際について理解する。
- 3) 高齢者の人生及び価値観、文化にも配慮する医療とケアについて理解する。
- 4) エンドオブライフケアにおける看護の役割や、チームアプローチについて考察する。

講師・講義テーマ（講義順）

加藤 亜妃子（人間環境大学看護学部 准教授）	EOL ケアの基本について
高梨 早苗（老人看護専門看護師）	EOL ケアにおけるコミュニケーション
高梨 早苗（同上）	事例検討
三浦 久幸（在宅医療・地域医療連携推進部長）	老いや死の価値
百瀬 由美子（愛知県立大学看護学部 教授）	高齢者の尊厳と EOL における倫理的課題
横江 由理子（いきいき在宅クリニック 看護部長）	在宅における EOL ケア
西川 満則（緩和ケア診療部 医師）	症状緩和について
加藤 瑛一（薬剤師）	症状緩和（薬物療法を中心に）
高橋 智子（理学療法主任）	緩和リハビリテーション

認知症高齢者の看護・実習

第1クール 2021.10.28(木)~10.29(金)
 第2クール 11.4(木)~11.5(金)
 第3クール 11.18(木)~11.19(金)
 第4クール 12.9(木)~12.10(金)

講座目標

- 1) その人中心のケアの理念に基づく病棟運営の実際を理解する。
- 2) 身体合併症を有する認知症高齢者への医療とケアの実際を理解する。
- 3) 習得した知識・技術に基づき認知症高齢者にかかわり、認知症ケアが実践できる。
- 4) 認知症ケア推進のためのチームアプローチ、組織的活動について理解する。

実習病棟・受講資格

もの忘れセンター内 西病棟（認知症疾患医療センター 認知症専門病棟）

実習の受講は、2012~2021 年度に開催された本研修内の「認知症高齢者の看護」の修了者に限る。2022 年度は病棟移転のため、本実習の開催は未定です。

※ 申込書には、「認知症高齢者の看護」を受講した年度を記載してください。

実習指導者

竹内さやか（認知症看護認定看護師）猪口里永子（老人看護専門看護師）高梨早苗（老人看護専門看護師）

実習時間	1 日目	2 日目
9:00~12:00	オリエンテーション DST ラウンド見学	多職種カンファレンス見学（8:30~） 認知症高齢者とのかかわり
13:00~16:00	認知症高齢者とのかかわり 軽度認知障害・認知症の方と ご家族向け教室参加 リハビリ・レクリエーション参加	認知症高齢者とのかかわり 実習の振り返り

4. 受講資格・募集定員・研修費

【受講資格】 実務経験2年以上の看護師

【募集定員】 各講義100名、各実習5名(先着順)

【研修費】 講義20,000円/2日間、実習6,000円/2日間

講座名(開催順)	日程	研修方法	期間	研修費
高齢者の医療とケア1	9/29(水)～9/30(木)	講義	2日間	20,000円
高齢者の医療とケア2	10/6(水)～10/7(木)			
認知症高齢者の看護	10/20(水)～10/21(木)			
高齢者のリハビリテーション	11/10(水)～11/11(木)			
高齢者の在宅医療	11/24(水)～11/25(木)			
高齢者のエンドオブライフケア	12/1(水)～12/2(木)			
認知症高齢者の看護・実習	10/28(木)～10/29(金) 11/4(木)～11/5(金) 11/18(木)～11/19(金) 12/9(木)～12/10(金)	実習	2日間	6,000円

※ 講義は最少8名から実施、実習は最少3名から実施いたします。

※ 「認知症高齢者の看護・実習」の受講は、本研修における「認知症高齢者の看護」の修了者を対象に開講しています。詳細は4ページをご覧ください。

※ 振込みされた研修費は返金に応じられませんのでご注意ください。やむを得ず出席が難しくなった場合には、代理の受講者についてご連絡ください。また、領収書は発行いたしませんので、振込用紙の振込金受領書をそれに代えてください。

5. 研修申し込み方法

○研修の申し込み方法は、郵送もしくはインターネット(Web)のどちらかです。

<郵送>

募集要項最終ページの研修申込書に必要事項を記載し、国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター宛に郵送してください。封筒には「総合看護研修申込書在中」とお書きください。

【研修申込書 郵送先】

〒474-8511 愛知県大府市森岡町 7-430

国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター
高齢者医療・在宅医療総合看護研修 事務局

<インターネット(Web)>

右記QRコードもしくはURLへアクセスし、お申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/16qDPnTiOqDC4nFpIxB9bV-LyzNotQGT0HyZt3AeA13E/edit>

○おひとりで複数の講座の受講も可能です。

○申し込みは先着順で受け付けます。

後日、受講決定通知書および受講料振込依頼票を送付いたします。
受講料を指定期日までにお振込みください。

○申し込み締め切り

2021年8月2日(月)消印有効



6. 受講にあたってのお知らせ

本研修はご自宅やご自身の施設などで受講ができますが、ネット環境、PC 機器の設備環境等につきましてはご自身で準備していただく必要があります。

1. 受講に必要な以下のネット環境をご準備ください。
 - ①安定したネット回線をご用意ください。

携帯電話会社の回線でも使用は可能ですが、通信量が大きいため、有線LANケーブルや安定したネット回線(Wi-Fi など)での受講をおすすめします。

※ スマートフォン、タブレット端末でも視聴できますが、推奨環境外ですのでご注意ください。

※ カメラが映らない、音が出ない、インターネットに接続できないなどシステムや環境上のフォローはできかねます。
 - ②ご自身が利用されるモバイル通信の契約内容によっては、別途通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
2. Zoom に参加できるよう、以下の 3 点をご準備ください。
 - ①パソコン・・・安定した通信環境でインターネットに接続できるパソコン
事前に Zoom アプリ(無料)をインストールしてください。
 - ②パソコン内蔵や付属のカメラ/USB 接続のWeb カメラなど
 - ③イヤホン/パソコン内蔵や付属スピーカー/ヘッドセット/マイクスピーカー
3. 受講に際し以下の行為は禁止しておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。
 - ①研修の映像・音声を録画・録音等などの複製行為
 - ②外部への公開や二次利用するなどの転載行為

【問い合わせ先】

〒474-8511 愛知県大府市森岡町 7-430 国立長寿医療研究センター
長寿医療研修センター 高齢者医療・在宅医療総合看護研修事務局

- 研修内容について
看護研修室 高梨早苗(takanasi@ncgg.go.jp)
- 研修費振込、手続き等について
研修管理室 鈴木正弘(suzuki-masahiro@ncgg.go.jp)

TEL:0562-46-2311(病院代表)

FAX:0562-45-5813(研修センター)

2021 年度 高齢者医療・在宅医療 総合看護研修申込書

今年度は ZOOM(リアルタイム)によるオンライン研修のみでの開催です。

なお、「認知症高齢者の看護・実習」は現地開催です。

● 研修科目:希望する研修に○印をつけてください

	高齢者の医療とケア 1	9/29(水)～9/30(木)
	高齢者の医療とケア 2	10/6(水)～10/7(木)
	認知症高齢者の看護	10/20(水)～10/21(木)
	高齢者のリハビリテーション	11/10(水)～11/11(木)
	高齢者の在宅医療	11/24(水)～11/25(木)
	高齢者のエンドオブライフケア	12/1(水)～12/2(木)

● 希望する実習クールに○印をつけてください

認知症高齢者の看護・実習 ※2012～2021 年度に開催された本研修内の「認知症高齢者の看護」の修了者に限る		「認知症高齢者の看護」受講年度 ()年度
	第1クール 10/28(木)～10/29(金)	
	第2クール 11/4(木)～11/5(金)	
	第3クール 11/18(木)～11/19(金)	
	第4クール 12/9(木)～12/10(金)	

● 研修申込者 下記事項につきましては、全てをご記入ください。

ふりがな氏名			
生年月日	年 月 日(歳)	性別	男性・女性
勤務先施設名			
勤務場所 (主な診療科)	()		
書類送付先	自宅・勤務先		
書類送付先住所及び電話番号	〒 ————— Tel —————		
メールアドレス			
看護師実務経験年数	通算 年 ヶ月		

※ 個人情報、本研修に関する事業以外には利用しません。
※ 複数枚必要な場合は、コピーしてご使用ください。

事務局記入欄
受付(消印)日